

カープ浴衣第5弾を発売

新柄は「錦鯉の小紋柄」

県内の呉服店などで販売

和服の縫製・仕立て・クリーニングなどを営む(株)アシスター(福山市伊勢丘3-8-21、松井 稔社長、電話084・943・9625)は、今年で5回目となる広島東洋カープ球団承認「カープ浴衣」を売り出した

井社長)。男女別でS・M・L(男性用はLも)サイズを用意した。

カープ浴衣は、本物と同じく袖に紺色のラインがひかれ、応援時に腕を振るとよく見えるよう左袖には「Hiroshima」、男性用は背中に、女性は襟首下と右袖に「Carp」とカープロゴを染め抜いた。ほか、胸元と正面にも配しているが、正面のロゴマークは右肩上がりよく目立つ。

昨年同様のベージュの赤地(ビジター)写真右と、今年はい赤い広島県形を錦鯉の模様のように大散りばめた「小紋柄」の2種類を展開写真左(松

背番号は人気選手の鈴木誠也(1)と菊池涼介(33)、大瀬良大地(14)、西川龍馬(63)、會澤翼(27)を用



意。男性と子どもは背中に、女性は右袖に入っている。値段は数量限定で4万6800円(税別、以下同じ)。背番号無しは3

万6800円(数量限定なし)。小紋柄は2万6800円。

松井社長(47)の話「コロナ禍の影響で開幕は6月にずれ込み、無観客試合などファンには寂しいシーンが続きそうです。浴衣は5代目ですので、これまでのユーザー様と一緒に動画作成をしたり、弊社を介した『ZOOMでリモート応援』などの企画もやっていきたいと思えます」。

「後山山荘」

14日から毎月第2日曜日に開館
「マスターウォール」撮影場所に

藤井厚二、前田圭介という福山を代表する新旧の建築家が関わった建物として、

型コロナウイルス感染症拡

大防止の観点から5月末まで休館していたが、6月14日(日)から開館する。

原則として、毎月第2日曜日の午前10時～午後3時に見学できる。時間帯は午前10時～、同11時～、午後1時～、同2時～で、1回あたりの見学時間は概ね50分。同山荘を管理するボランティア組織「後山山荘倶楽部」(松隈章・谷藤史彦共同代表)の会員が解説する。人数は当面、原則として1回あたり5人まで。

見学者は大人1千円、学生500円で、小学3年生以下は入場不可。見学希望日の2週間前までにHP(<http://www.ushiroyamaansou.com>)から申し込む。

また、見学者向けに同山

荘を紹介したポストカード写真上を販売中(3枚500円)。

なお、家具製造販売の(株)アカセ木工(岡山県里庄町新庄1550、藤井幸治社長)が製造するブランド「マスターウォール」の新商品「ブループリントラウンジチェア」紹介の撮影場所に同山荘が選ばれ、同ブランドのウェブサイト(<https://www.masterwal.jp/news/detail/714/>)でリリースされた写真下。

製品のデザインが同山荘の持つ「和モダン」な雰囲気にもマッチしていたというのが選定理由。

